

平成25年度 集いダイジェスト

講演「家庭・学校・地域のトライアングルで子育てしよう」

千葉大学名誉教授、中央教育審議会委員 明石 要一 先生



『ガリ勉じゃなかった人はなぜ高学歴・高収入で異性にもてるのか』というタイトルの本で、学校外の体験が人生の成功を決めるということを書いている。親子の会話や共有体験、チャレンジし失敗する体験、家族と学校の人間関係以外のナナメの関係づくり等の環境を整えることで、自ら考え、判断し、意欲的に学ぶ子どもが育つ。

教育に携わる者として「二つの風、一つの色」を起こしてほしい。一つ目は家風を作してほしい、家自慢をしてほしいということ。二つ目は、校風、学校の風を起こし、学校にかかわることがらの由来を話すような学校自慢をしてほしい。そして、地域の方々には地域色を出し、愛媛を好きになり、愛媛をよくしていただきたい。各々が役割を自覚し、責任を果たす「トライアングルで子育てしよう」を実践し、たくましい子どもを育成していただきたい。

第1分科会 テーマ【人間関係】

いじめのない子どもたちの豊かな人間関係をどうやって築くか

【発表1】

いじめの現状

愛媛県立松山東高等学校

教諭 武智 誠治

【指導助言】

臨床心理士・元県立高校長 紅谷 博美

【発表2】

幸せな子どもは、人をいじめない
～幸せな子どもを育む支援をめざして～

西予市立三瓶中学校

養護教諭 井上 千代



第2分科会 テーマ【PTA活動】

保護者と学校、保護者と保護者をつなぐPTA活動をどのように進めるか

【発表1】

スマイルクラブの活動を通して

宇和島市立宇和津幼稚園PTA

前会長 山本 淑子

【指導助言】

砥部町立砥部中学校長 田中 弘

【発表2】

応援団

松山市立桑原小学校PTA

会長 山崎 孝朗

【発表3】

70年の軌跡 さらなる未来へ

愛媛県立今治工業高等学校PTA

副会長 吉村 尚子



第3分科会 テーマ【学力向上】

「生きる力」を支える子どもたちの確かな学力をどのようにして向上させるか

【発表1】
自ら考え、意欲をもって学ぶ児童の育成
松山市立福音小学校
教諭 土井祥二郎

【指導助言】
愛媛県教育委員会義務教育課
主幹 上村 悦男

【発表2】
生徒主体の活動を目指した学力向上への取組
西条市立河北中学校
教諭 莖田 篤史

【発表3】
高齢社会を支える人材の育成
愛媛県立川之石高等学校
教諭 井上 生



第4分科会 テーマ【命と安全】

子どもたちの命と安全を守る学校づくり・地域づくりをどのように進めるか

【発表1】
学校安全から始まる地域安全
NPO法人「守ってあげ隊」
代表 片山 智雄

【指導助言】
愛媛県教育委員会保健体育課
担当係長 友澤 義弘

【発表2】
南海大地震から子どもたちの命を守る！
愛南町教育委員会学校教育課
課長補佐 中尾 茂樹



第5分科会 テーマ【家庭教育支援】

保護者と子どもを支え育む家庭教育支援の体制づくりをどのように進めるか

【発表1】
絆を深め、心の通った温かい支援を目指して
ふれ愛グループ家庭教育支援チーム
チームリーダー 藤田 典子

【指導助言】
愛媛大学 名誉教授 讃岐 幸治

【発表2】
企業での家庭教育支援の取組み
アビリティセンター株式会社
松山オフィスリーダー 藤江 直子



第6分科会 テーマ【学校支援】

多様な課題が山積する学校教育を、地域住民と保護者がどのように連携し支援するか

【発表1】
地域の力を学校に
—地域ぐるみで育てよう—
三崎の子どもたち—
三崎中学校区学校支援地域本部
コーディネーター 中井 和

【指導助言】
文部科学省生涯学習政策局
地域学習活動企画係長 入江 優子

【発表2】
地域とともにある小中一貫教育を目指して
鬼北町立日吉中学校
校長 西村 久仁夫



シンポジウム・閉会行事

「子どもの豊かな育ちを目指す学校・家庭・地域の連携の在り方」

- ・コーディネーター
平松 義樹 氏（愛媛大学教育学部教授、愛媛県学校・家庭・地域連携推進協議会長）
- ・シンポジスト
小椋 由紀子氏（愛媛県小中学校長会副会長・松山市立東中学校長）
重見 和典 氏（愛媛県PTA連合会前会長）
関 福生 氏（新居浜市市民部長）
- ・閉会あいさつ
文部科学省生涯学習政策局 社会教育課長 坪田 知広 氏

